

2009年12月22日

各 位

オリックス不動産株式会社

神鍋高原 ブルーリッジホテル 「豊岡市コウノトリ基金」への寄附活動について

オリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：山谷 佳之）が運営する「ブルーリッジホテル」（兵庫県豊岡市日高町、総支配人：好井 憲三）は、2010年1月から「豊岡市コウノトリ基金」(*1) への寄附活動を開始しますのでお知らせします。

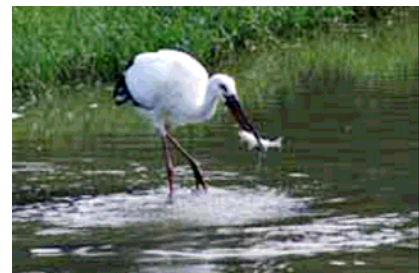
「豊岡市コウノトリ基金」は、コウノトリの野生復帰を核とした人と自然が共生するまちづくりに資するために設立され、主にコウノトリの生息環境に直結する湿地を復活（再創造）させる活動に使われています。「ブルーリッジホテル」は、地元豊岡市のシンボルであり、幸せを運ぶとされるコウノトリにちなみ、当ホテルで結婚式を挙げられるお客さまの末永い幸せを願うとともに、婚礼売上の一部を当基金への寄附にあてることで、豊岡市の環境保護活動に協力させていただきます。

《実施概要》

- 開始時期： 2010年1月からの婚礼実施分より
- 寄附先： 豊岡市コウノトリ基金
- 寄付金： 婚礼者1組につき2,000円を寄付（年間100～120組を予定）
- その他：
 - ・豊岡市長より婚礼者にお礼状、お祝い状の贈呈
 - ・ホテルより婚礼者にコウノトリにちなんだ記念品の贈呈

(*1) 「豊岡市コウノトリ基金」

コウノトリの野生復帰を核とした人と自然が共生するまちづくりに資するために、2000年兵庫県豊岡市により設立されました。寄付金は、コウノトリのエサ場となる湿地やピオトープ水田の整備、コウノトリ野生復帰の普及啓発事業などに活用されています。かつての日本の農村地では、コウノトリが空を舞う光景を見ることができました。しかし、コウノトリが巣を作る松の木の伐採、河川のコンクリート化、田んぼの整備、農薬の使用などにより、1971年に日本では野生のコウノトリが絶滅。豊岡市では、1965年からコウノトリの人口飼育を開始。40年に及ぶ保護・繁殖の歴史を経て2005年にコウノトリを再び自然界に帰すことに成功しています。



以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス不動産 運営統括部営業推進課 上村

Tel.03-3435-3211

Press Release



【ブルーリッジホテル】

所在地：兵庫県豊岡市日高町栗栖野 55

連絡先：Tel. 0796-45-1200 Fax.0796-45-0386

客室数：96 室

施 設：レストラン、チャペル、宴会場、屋内プール、セラピーサロン、
天然温泉大浴場、露天風呂、サウナ、売店

U R L : <http://www.blridge.jp>

